

月給並役員姓名





第十五國立銀行創立、付配役姓名及ヒ月給左ノ通
各異議無之上ハ姓名ノ下ハ捺印シ世話役
支配人以下ハ身元引
請二人以上ノ立別紙書式ノ通相認當月中ヲ期シ頭取
取締役ノ内ハ可差出事

但シ店內諸規則、儀ハ頭取々締役協議ノ上追々
取極可申、付總ラ相守可申事

一金三百円

頤取

七利

元德

副頭取

一同戴百四

德川

慶勝

取締役

同百五拾円

山内

豐範

二同百五拾四

黒田

長知

同百五拾四

池田

章政

支配人

同百戴捨円

中村

清行

副支配人

一金百貳拾円

書記掛

熊谷武五郎

一金百貳拾円

計算掛

岩橋 輜輔

一金百円

出納掛

遠田 甚助

一金百円

簿記掛

肥田 昭作

書記方

一金三十拾円

一金貳拾円

浅田 耕

同補

一金拾円

永澤仲之亮

一金拾円

稻次次郎助

同當分雇

一金五円

中島鋳三郎

出納方

一金貳拾円

福住 英勇

同補

一金拾貳円

坪内 信益

一金拾円

森 謙次

同當分雇

一金七円

西垣 義道

外二

札改雇二名

一金拾五円

一金拾五円

計算方

一金四拾円

高橋 作善

一金貳拾五円

堀内 正路

同補

一金拾五円

大島 成渡

同當分雇

一金七円

林 誠明

簿記方

同補

一金八円

堀 彰教

同當分雇

一金七円

湍谷 洪

一金七円

田村 篤

庶務方

一金五拾円

山本 直成

但主家兼勤繁用ヲ以テ等々給ス

一金貳拾円

久野 昌一

同補

一金拾七円

三好 長祥

一金拾円

村上 帰一

一金八円

島田 直意

一金八円

越智 義路

一金七円

中村 直唯

同當分雇

一金七円

邑井喜間太

一金七円

細井 義高

一金七円

佐々木一夫

一金六円

富永 令緒

一金六円

長尾 正名

一金六円

北村 重義

一金六円

森井 繁有

一金六円

宇田川伍之助

門衛小使長

一金六円

長尾吉之助

門衛小使

一金五円

長澤 安勝

一金五円	鈴木 龍象
一金五円	宮川 重正
一金五円	設樂 善平
一金五円	田中 耕治
一金五円	野田 勝治
一金五円	伊藤 熊次郎
一金五円	田中 伊助
一金五円	平子 常次郎
一金五円	有原 龜藏

一本人御用差支之節出頭	頭取 毛利元德名代
目	毛利 元敏
目	副頭取 徳川慶勝名代
目	松平 頼聰
目	取締役 山内豊範名代
目	山内 豊誠
目	同 黒田長知名代
目	五辻 共伸
目	同 池田章政名代
目	池田 茂政

岩倉家令代

近衛家令

島津家令

前田家令

毛利家令

細川家令

德川家令

世詒役七名

一金百円

簿記注意

岩倉 具定

但右府公卿手元御用兼務有之ヲ以テ半等ナシ

一同百円

総テ注意

海江田信義

一同百円

総テ注意

奈良原 繁

一同百円

計算注意

北川亥之作

一同百円

總テ注意
當分出納

柏村 信

一同百円

出納注意

鬼塚 通理

一同百円

書記注意

間島 冬道

助勤七名

一金貳百円

内

一金貳拾円

書記助勤

山内家

日野

春料

一金貳拾円

出納助勤

里田家

重濱

勝盛

一金貳拾円

簿記助勤

池田家

宮明

信吾

一金貳拾円

計算助勤

元水三郎

長吉川

清

矢島作郎

伊勢華

浮田八郎

頭取・記録役付筆者

一金拾円

一金拾円

一金拾円

一金拾円

同任給仕

一金六円

一金五円

六條

有義

戸田

欽堂

松本

宗有

松井

光吉

二月間大藏省ヨリ簿記へ拝借

一謝金貳拾円

藤尾 祿郎

人負統計

七拾四名

月給一ヶ月統計

金貳千八百七拾三円

一ヶ月合

金三萬四千四百七拾六円

一金八円

筆墨代

一同五拾円

用紙代

一同三拾円

読道具代

一同百五拾円

官賃費

一同五拾円

蠟燭炭茶代

一同貳拾円

カス

一同百五拾円

ストロブ

一同貳拾円余

諸税

一同貳拾六円

宿直拾三名
辨當料

金拾五円

同三拾円

諸費一ヶ月統計

金五百四拾九円

一々年

金六千五百八拾八円

一々年

金三千円

非常ノ為メ人吏拾人
足當料一入一日五支宛

人力車先郵便切手等

衆筆族ノ為メ同族学校
費一助々年々々廻リノ丁

三口合

金四萬四千六拾四円

一金五萬円

銀行費用一々年定額

内

一金三万四千四百七拾六円

月給一々年統計

一金六千五百八拾八円

諸費一々年統計

一金三千円

華族學校一々年費

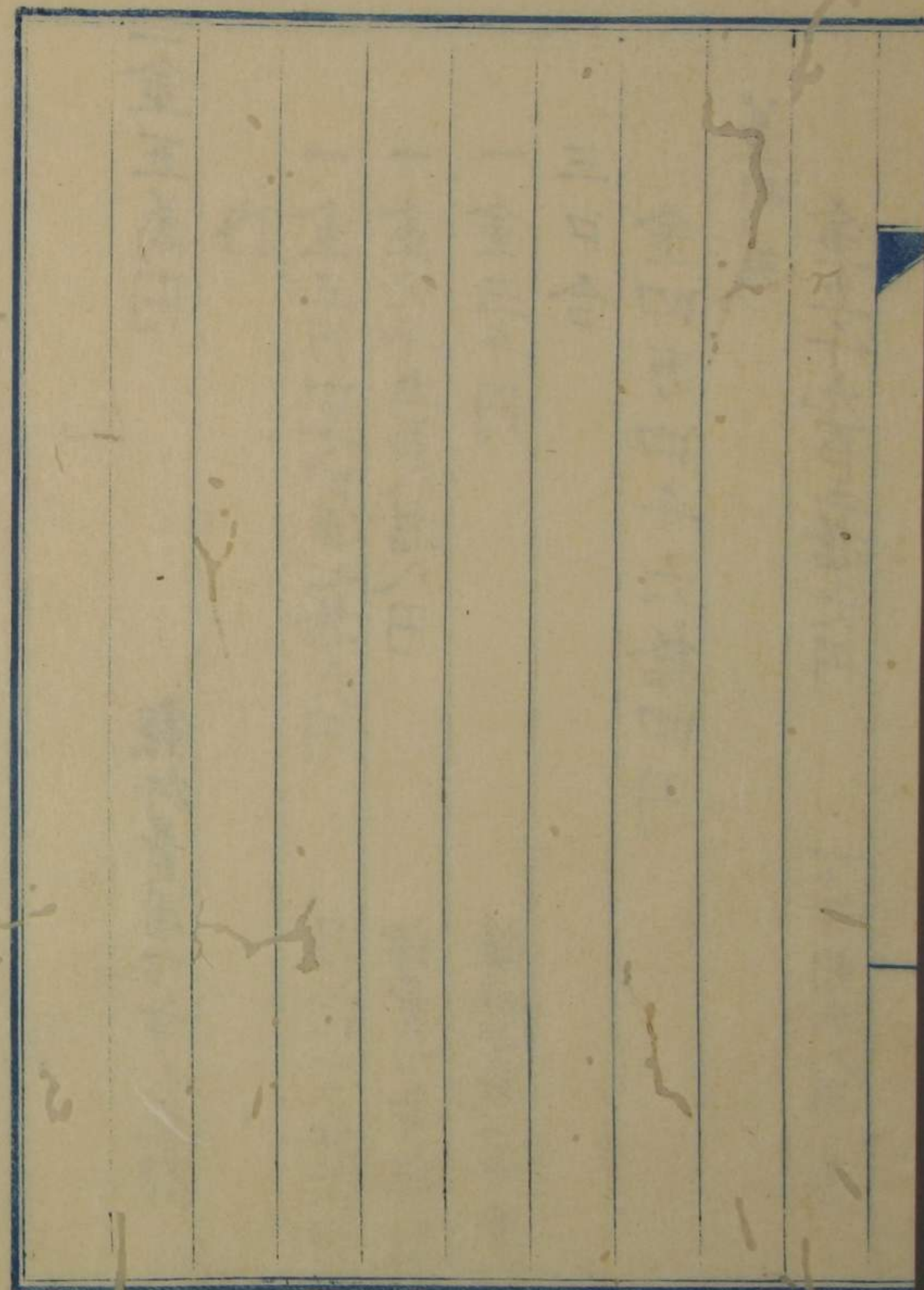
三口合

金四万四千六拾四円

差引残

金五千九百三拾六円

一々年臨時入用三當



雇人請狀雛形用紙証券思紙

何ノ誰美今般当銀行へ御雇入ニ相成候ニ付何ノ
誰美身元引受人ニ相立申候然ル上ハ銀行ノ諸規
則ハ謹テ遵守シ忠實ニ為相勤可申候

一御雇ノ期限ハ明治十年何月何日ヨリ同十一年
何月何日マテ満壺々年在勤ノ約定ニ候

一前条ノ通取結候得トモ銀行ノ都合ヨリ右期
限中放免相成リ候トモ苦情申立間敷ク候

一満期ニ至リ重年勤務ヲ命セラル、時ハ異議ナク奉
命為致可申候

一萬一銀行ノ規則ニ違背シ又ハ金錢取扱上ニ不注意
ヨリシテ御店ノ損失ト相成リ候節ハ保証人ヨリ并
償ハ勿論相當ノ過怠金差出シ可申候

一 本人身上ニ付若シ不都合ノ美出素候トモ保証
人引請聊御店ノ御迷惑ニ不相成様取捌可申
候依テ証層如件

本管族藉

本人 姓名 印

月

保証人 姓名 印

月

保証人 姓名 印

第十五国立銀行

頭取

毛利元徳殿